

令和5年度第2回大阪府立母子・父子福祉センター
指定管理者評価委員会議事概要

開催日時：令和6年2月20日 火曜日 13時00分から15時00分

場所： オンライン会議（Microsoft Teams）

※事務局及び傍聴スペースは大阪府庁別館6階福祉総務課会議室

出席委員：岩井 正彦 公認会計士岩井正彦事務所 公認会計士
植木 和彦 泉佐野法律事務所 弁護士
遠藤 和佳子 関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授
岡田 忠克 関西大学 人間健康学部 福祉と健康コース 教授
文能 照之 近畿大学 経営学部 キャリア・マネジメント学科 教授

会議の概要

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 大阪府立母子・父子福祉センターにおける管理運営業務の評価について
 - (2) その他
- 3 閉会

主な意見等（○：委員（及び委員長）、●：事務局、◆：指定管理者（以下、管理者とする。））

議事(1)について

【I 提案の履行状況に関する項目-1.について】

- 委員長) 事務局から説明のあった指定管理者自己評価および所管課評価について、ご意見をいただきたい。
- 委員) 就業支援事業の実績について、相談件数に対する紹介件数が少ない理由と日常生活支援事業の派遣回数が少ないが、指定管理者はこの結果を分析されているか。
- ◆管理者) 紹介件数については、当センターの求人以外にも、他機関等の求人も必要に応じて提供している。また、相談者全員に求人情報は提供している。
日常生活支援事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用者が減少し、その後、利用者が戻ってきていないと考えている。
当該事業に係る申請書類は当センターに常設し、府内市町村へリーフレットの配架を行うなど事業を活用いただけるよう周知している。
- 委員) 各講習会開催後のアンケートを実施し、ニーズに対応するなど事業を適正に実施いただいていると思うが、ひとり親家庭の実態なども把握できれば良いと考えるので、引き続きよろしく申し上げます。

【Ⅰ 提案の履行状況に関する項目—2・3・4・5及び

Ⅱ さらなるサービス向上に関する項目について】

- 委員長) 事務局から説明のあった指定管理者自己評価および所管課評価について、ご意見をいただきたい。
- 委員) 利用者アンケートについて、回収率(84.7%)は十分高いと思うが、更に回収率を上げて満足度を維持できれば理想である。回収率を上げる取り組みがあれば教えてほしい。
- ◆管理者) 講習会の開催前などにアンケートの回答協力依頼をしており、未回答であった方へも電話で回答いただくように依頼している。
- 委員) 利用者のニーズをとらえるためにも回答率が上がるよう引き続き検討してほしい。
- 委員) 利用者アンケートは、紙媒体のみで匿名での回答であるか。
- ◆管理者) 紙媒体と二次元コードでも回答いただけるようにしているが、回答いただいた方へアフターフォローを実施するため、記名いただくようにしている。
- 委員) 事業について適正に実施いただいております、課題はあまりないかと思うが、各相談事業の機会を活用してセンターが実施する制度を案内するなど、アウトリーチによる支援を行うなどの工夫をして事業を実施してほしい。
- 委員) ホームページは見やすくなっているが、利用者が支援内容をイメージできるようにQ&A集を更新してほしい。

【Ⅲ 適正な管理運営業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項について】

- 委員長) 事務局から説明のあった指定管理者自己評価および所管課評価について、ご意見をいただきたい。
- 委員) 特になし。

議事(2)について

- 事務局) 今後のスケジュールについて。
本日いただいたご意見等を踏まえ、業務評価票を完成させる。
今年度末を目処に、いただいたご指摘・提言等を踏まえ、令和6年度の事業にどう反映していくかを協議し、府にて「モニタリング評価実施による改善のための対応方針」を策定し、指定管理者に提示する。
指定管理者は、「モニタリング評価実施による改善のための対応方針」を踏まえ、令和6年度の事業計画を府に提出する。
- 委員長) 今後のスケジュールについては事務局からの説明のとおり。なお、業務評価等についての事務局との最終調整については、委員長に一任いただきたい。
- 委員) 了承

以上